

一羊会だより

発 行

社会福祉法人一羊会

事務局

〒663-8241

西宮市津門大塚町1-47

電 話 (0798) 31-1760

FAX (0798) 31-1763

口座名義

一羊会後援会

銀行 三井住友銀行

西宮支店

普通 3007061

郵便振替口座

01190-8-66322



宿間谷 憲江

(しゅくまたに のりえ)

1967年生まれ

すずかけ作業所

数字に興味がある彼女の刺繍作品には、自分の好きなイチゴやメロンに番号がふられ、それらが番号順に並んでいる。彼女にとっては、自分が刺繍した数を確認する為のようだが、その番号と絵の連なりが不思議な世界観を生み出している。

【あとりえすずかけで 12 月に行う第一回目の展覧会「すずかけの間 その1」に、彼女の作品を展示することとなり、本人も開催を楽しみにしている】

私、憤っています!!

理事長 三 浦 昇



寒暖の差が厳しい時節が過ぎ、いよいよ冬に向かうぞ!という気候になってまいりましたが、皆様ご健勝にてお過ごしでしょうか。

今年度、40周年を迎えたものの、一羊会にとってはいろいろと憤りの多い年度になっています。

今年7月に起きた神奈川県「津久井やまゆり園」事件はしょうがいがある人達の存在をも否定する人を人とも思わぬ許しがたい暴挙に他なりません。全国的に情けなく、悔しい想いを皆一同されたことと思います。「しょうがい者である前に、一人の人間である」このごく当たり前のことが広く社会に浸透し、虐待防止法、差別解消法等の法制度の整備、権利条約批准の流れの中で、教育現場にもしっかり反映され、人としての尊厳が守られる地域づくりに向けた取り組みが進むことを望むものです。

この事件の報を受け、当法人でもセキュリティーの見直しを行い、いち早く対応してまいりました。

10月に入り、国の補正予算の中で防犯関係の整備に対する補助も予算化されたとの報を受け事務手続きを進めていましたが、申請に要する日数が10日そこそこで締め切るという、事業者の状況を勘案せずとってつけた様な形骸化した心無い対応に思えます。

又、一羊会のように事件後にいち早く対応した既設の防犯設備については対象としない等何とも腹立たしい限りです。

更には、西宮市では1ヶ所だけ、今年度計画していたグループホーム建設の国庫補助申請も予算がつかず0円回答。「地域で暮らす」を謳っている国としての施策実態がこのようなことでよいのか!真意の判らない国の行政施策の歪みをまともに受けた思いです。

そういったわけで、残念ながら今までお知らせしてきました北部展開の事業については延期の方向です。

事業を展開していく上で、国庫補助の制度は特に

ハード面の整備に関しては、今まで無くてはならないものだと考え、それをベースに計画を立てて実践してまいりましたが、今回の案件で先行き不安を残す結果となりました。

今後の制度の動向について国としてのもっと丁寧な対応を望むとともに、前向きに取り組んでいる事業者としては、非常に不安と憤りをもって動向を注視していきたいと思っています。

さて、来年度の社会福祉法の一部を改正する法の施行に向けて、いよいよ本格的に取り組んでまいります。いろいろと壁や課題も多いですが、基本理念から外れることなく取り組んでまいりますので、皆様、応援の程よろしくお願い致します。

リレーエッセイ

「なぜ人は煙草を止めたくても止められないのか」



ジョイント管理者 久保 廣高

支援者が利用者支援の話をするときによく ABA という言葉が出てきます。ABA とは応用行動分析のことですが、今回はこの応用行動分析の基になる行動分析学について説明します。人間の行動には、それをさせる原因があり、行動分析学はその原因を明らかにして、行動についての法則を見出す学問です。人間は普段自分の意志で行動していると思いがちですが、実は自分の意志ではなく法則に基づいて行動しているのだそうです。ちょっと驚きですね。この行動分析学が様々な分野で応用されてきました。教育、医学、組織行動マネジメント、スポーツ行動分析など様々です。そして、その中に自閉症や発達障害の分野も含まれます。このようにさまざまな分野で応用されることを「応用行動分析」といいます。行動分析学で特徴的なのは、人間の行動の原因を「いらいらしていたから」、「やる気

がないから」、「意志が弱いから」といった心の状態に求めません。確かに「あの人はいらいらしていたから怒っていたのだ」とか「あの人はやる気がないから仕事を途中で投げ出してしまうんだ」とか「あの人は意志が弱いから煙草を止められないんだ」のような言い方を普段私たちはよくします。この言い方は一見原因を特定しているように見えますが、実はこれは何の解決にもなっていません。「あの人はやる気がないから仕事を途中で投げ出してしまうんだ」とは「あの人が仕事を途中で投げ出してしまうのは、やる気がないからだ」となり、堂々巡りになってしまって、原因の究明にはつながりません。「やる気がない」や「いらいらしている」といったレッテルを貼って原因を究明した気になっているだけです。行動分析学では、気持ちを原因にするのではなく、行動の結果に焦点を当ててそこから原因を考えます。日常生活のよくある例でいうと、トイレで電気をつけるという行為は私たちがトイレに入るとき無意識のうちにする行為です。「暗くて見えない→ 電気のスイッチを ON にする→明るくて見える」。図にすると左のようになり、結果が本人にとって好ましい結果になるので、それが繰り返され定着し、やがては無意識的にその行動をするようになります。反対に電気を消すのをよく忘れる人がいます。これは電気を消しても本人に直接的な有利なことはなく、また、電気を消さなくても本人にとって不利なことはないので電気を消すことは定着しません。

では別の例で説明します。子供が泣き出すと母親が抱きしめるのがパターンになってしまうと、子供は母親に抱きしめてもらうために泣き出すことが定着する場合があります。これを行動分析学を使って改善しようとするならば、「泣き叫ぶときあまり反応せず、反対に一人で静かにいられるときに抱きしめてほめてあげる。それを繰り返すと、子供にとっては静かであることが自分にとって好ましい結果となるのでそれが定着していく」となります。この例でわかるように、好ましい結果（この場合抱きしめてほめられる）になるように、その前の行動パターンをうまく変えてあげるのです。泣くのではなくて、

一人で静かにいられることによっても抱きしめてほめられるんだよというように変えてあげるのです。

つまり、行動分析学では実験を通して人間の行動の原因を突き止めます（先ほど言ったようにその原因は心には求めません）。現状に対してある新しい条件を加え、対象となる行動の変化を見ます。その行動の変化が好ましいものになるように、その条件を変えていきます。そのコントロールで人間の行動が改善していくのです。

行動の変化が定着していくその定着度についてですが、本人にとって好ましい結果になる変化の方が定着しやすいということです。好きなことはすぐ覚え定着するということです。反対に、本人にとって嫌なことをされたり言われたりして、何かをしたり何かを止めたりするのはなかなか定着しないようで、これも実験の結果から言えることだそうです（好子は回数が少なくてもよく効くが、嫌子は頻繁に与え続けないとだめという実験結果があります）。

ではここで「なぜ叱られても同じイタズラを繰り返すか」について考えてみましょう。他人に嫌なこと（この場合叱られる）を言われて、その行動を止めるということは、今言ったように、なかなか定着しません。叱られても一時的にイタズラは弱まるだけであって、またしばらくすると、もともとの「イタズラをする」という行動パターンが復活し、またイタズラをします（イタズラすることで相手の反応があり、それが面白くてイタズラをするというパターンの定着です）。こうなると、叱る方は常に叱ることになり、「どうして何度言ってもわからないんだ」と叱り方がエスカレートすることになります。さらに叱られ続けることの副作用もいろいろあるようです。自分はダメだと自尊心が傷つく。叱られないようにするため何もしなくなり自発性が減る。自分より弱いものに対して叱るようになる。簡単に言ってしまうと、いい行動の時はほめて、そうでないときは黙るなどして反応を控えめにするといいかもしれません。特

に新しいことを覚えるときはこうするのがベターだそうです。

「なぜ人は煙草を止めたくても止められないのか」「なぜ人は約束の時間に遅れるのか」「なぜ日本人はほとんど根拠のない血液型により人の性格を判断するのか」「なぜ傘をよく置き忘れるのか」「当たる確率の少ない宝くじをなぜ買い続けるのか」「これだけ世間で騒がれているおれおれ詐欺にいまだになぜ引っかかる人がいるのか」このような日常の疑問を行動分析学を使うとなるほどといった感じに分析できるのでけっこう面白いです。

「一羊園秋まつり」

一羊園 寺下 実



見事な秋晴の中、今年も「一羊園秋祭り」が 10 月 13 日に開催されました。毎年皆さんが楽しみにされている家族会でのたこ焼きを始め、キーマ風カレーやソフトクリームなどで食事を満喫し、イベントについては神戸の「アロハファミリー」の演奏&ハワイアンダンスを楽しみました。最後は、地元の「千翔会」の皆様と一緒に盆踊りで盛り上がりしました。今年から平日開催となり外部の方の参加は少なくなりましたが、地元ボランティアや家族会のご協力で無事開催出来ました。来年も、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



2016年10月21日(金)、西宮ロータリークラブ様からのクルージングのご招待があり、すずかけ作業所より20名ほど参加させて頂きました。

当日は天候もよく、新西宮ヨットハーバーから神戸方面へ約1時間半のクルージングでした。途中、コックピットで舵を取らせて頂けることになり、皆さん初めての経験ですが積極的にコックピットへ行かれました。

舵を豪快に操作する利用者がおり、船の揺れに顔色が変わっていく利用者もいましたが、西宮に戻った頃には笑顔も見られ良い経験ができたと思います。クルージングのあとは、ヨットハーバーのレストランにて西宮ロータリークラブの方々と昼食。いつもと違う雰囲気の中で、フォークとナイフを使いコース料理を堪能しました。



第3回 ぶらりすずかけワークショップを終えて

すずかけ作業所 山本 輝

第3回ぶらりすずかけワークショップを10月29日に開催しました。まずは開催の経緯についてお話します。

数年前、すずかけ作業所の会議にて、一羊会の基本理念の「ひとりひとりがその人らしく社会で

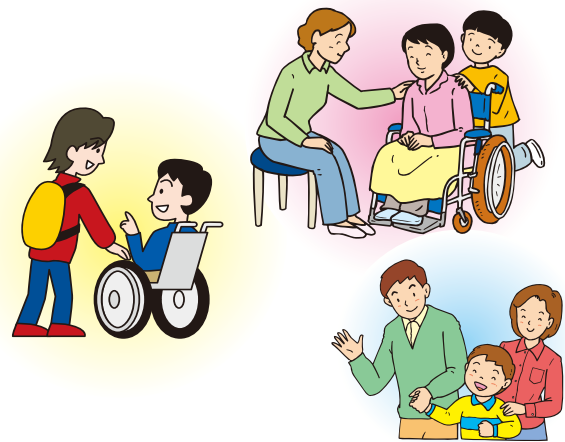
生きていくために何が必要か」という話し合いを持ったとき、地域の方々に作業所や利用者の事を知ってもらう機会が必要だという意見が挙がりました。そこからワークショップを開催するという事が決定した経緯があります。

ワークショップ当日は天候にも恵まれ、絶好のコンディションの中でスタートをする事ができました。今回は秋というキーワードで「秋色布巾作り」「きのこ石けん作り」「サニスポ展示・販売」の自主製品系ブースと、「コケ玉作り」「マザーリーフ」「蒸しパン作り」「ウッドアクセサリ作り」の7つのブースでそれぞれ工夫を施した体験を用意しました。12時50分の時点でお客さんが今か今かと開始時間を待ちわびており、職員は昼食もそこそこに準備の残りをバタバタと仕上げていった状況でした。開場してからはすぐに作業所玄関がお客さんの靴で埋め尽くされ、あっという間に足の踏み場もなくなるほどで、用意していたスリッパも足りず、ジョイントヘスリッパを借りに走るほどでした。お客さんの顔ぶれは、毎年来てくれている中学生、近所でチラシを見てくれた方、利用者さん、法人職員等の総勢71名でとても賑やかでした。そのお客さん達の中に、前日ジョイント前を通りかかって、掲示されたチラシを見ている所をジョイントの職員が声をかけて、ワークショップに来てくれる事を約束してくれた親子の姿もありました。各ブースにはたくさんのお客さんが殺到し、当初予定していた材料はすべて使い切る事が出来ました。ブース毎に利用者さんと職員が立ち、お客さん一人一人の対応を行いました。中でも印象的だったのは、利用者さんみんなが普段とは違った表情を見せ、とてもいきいきとお客さんたちと関わりを持っておられた事です。コケ玉作りの利用者さんは、お客さんが作るのに苦労している様子をみてアドバイスをしたり、布巾作りの利用者さんはミシンのデモンストレーションをしたりと、皆それぞれ楽しくお客さんと関わる事が出来ました。

今回お客さんにアンケートをお願いしていたのですが、3年連続でワークショップに参加してくれている中学生の回答に、「来年も予定をあけて参加し

たい」とあり、次回実施への意欲が高まりました。また、作業所の存在を知らなかった方がたくさん来てくれていたこともアンケートを通じて知り、地域の方々に作業所の事を知ってもらうという当初からの目的は達成できたかと思います。

冒頭にも書いたように、これからも地域の方を巻き込んだ催しを企画する事で、作業所の事を地域の方に知ってもらうという事を目標に活動し、インクルーシブな地域社会を目指す取り組みの一つとして地道に続けていきたいと思っています。



阪急西宮ガーデンズにて 新商品を販売します。

武庫川すずかけ作業所 谷口 雄大

この度、お菓子工房すずかけは西宮市の産学官共同プロジェクト「にしのみにゃ部」に参加し、商品を販売する事になりました。

「にしのみにゃ部」とは、株式会社フェリシモがコーディネーター役となり、産学官で西宮市の産品を「猫」をテーマにリブランディングし、西宮市産業の活性化を図り、猫と人がともに幸せに暮らせる社会づくりを目標にした活動です。売り上げの一部は「フェリシモの猫基金」として運用されます。

商品のコンセプトやパッケージはフェリシモと西宮の大学生が企画を行ないました。そこからは自分達では想像のつかないアイデアが沢山出ました。レシピはお菓子工房すずかけの既存の物をベースに開発しましたが、様々なアイデアを現実の物にしている作業はなかなか大変でした。しかし、様々な人と

協力して 1 つの物を作り上げていく喜びは普段ではなかなか得られない経験でした。そこから完成した商品は 2 種類です。

①しあわせまねき猫の小判型ビスケット(チーズ味)
¥1,024 (税込)

中はブラックペッパーとチーズの風味が効いた小判型のビスケットが入っています。甘さも控えめでちょっとしたおつまみにもおすすめの商品です。

②ふかふかこたつ猫パウンドケーキ(オレンジ味)
¥1,768 (税込)

中をあけると、ゆるーい癒し系の猫ちゃんがまるまったおまけカードが入っています。こたつ型ということで、オレンジケーキが入っています。

今回このプロジェクトに参加した事で、更に新たな可能性が広がったように思います。市内に配達や販売に出ますとお客様から「すずかけさん」とよくお声を掛けて頂きます。その度にこれまでの利用者さん・先輩職員が築いてくださった基盤があるお陰で今がある事を実感いたします。より魅力的な商品を開発・販売する事で利用者さんの「工賃」「働きがい」「誇り」を支えていけるよう利用者・職員一丸となってこれからも頑張っていきたいと思ひます。

商品は阪急西宮ガーデンズ 1F 北モール「フェリシモ猫部」より好評発売中です。是非お買い求めください。



①(左側)
しあわせまねき猫の小判型ビスケット(チーズ味) ¥1,024 (税込)

②(右側)
ふかふかこたつ猫パウンドケーキ(オレンジ味) ¥1,768 (税込)

第19回 武庫川ランプフェスティバル

武庫川すずかけ作業所 長尾 紘奨

2016 年 9 月 17 日に第 19 回武庫川ランプフェスティバルを開催いたしました。19 回目の今回も



多くの方にご来場頂き、大盛況で終えることができました。

今年度も出店やフリーマーケット、ステージイベント等の様々な催しがあり、ステージイベントでは武庫川すずかけ作業所の利用者が所属する和太鼓グループ“ふたば”の皆さんや、カノン上甲子園の“さけれど”の皆さんに出演して頂きました。すずかけ労働センターには自転車の販売をして頂いています。また、数名ではありますが武庫川すずかけ作業所の利用者に、出店や自主製品の販売をして頂きました。

例年ではありますが、地域の自治会、近隣の福祉団体や大学等が協力して武庫川ランプフェスティバルを開催しています。地域の方と協力し、毎年当たり前に開催できている武庫川ランプフェスティバルに感謝し、より一層地域とのつながりを大切にしていきたいと思ひます。

上甲子園すずかけ作業所で イベントを開催しました。

11 月 3 日に上甲子園すずかけ作業所はイベントを開催しました。今回は、第 5 回目となり、「食欲と芸術の秋」というテーマで利用者の製作した作品の展示やカレー、法人の各事業所で製造した商品の販売、産地直送の野菜の販売などを行いました。昨年より、年 3 回開催している同イベントはまだまだ地域にも法人内にも馴染みの薄いものではありませんが、「地域に開けた事業所」を目指し、企画しています。来場者は利用者の方々、保護者の方々为主ではありましたが、口コミなどにより地域の方々も

来場され、商品購入や談笑をするなど終始にぎやかな雰囲気イベントは大成功でした。地域の方々のコミュニケーションの場として我々職員一同大切にしているこのイベントを通して一羊会の力、利用者の力を身近に感じられました。また、地域社会の中で当たり前のように暮らしていることの喜びを再認識しました。このイベントが微力ながら地域活性につながることを願います。

一般財団法人 高友福祉積善会 福祉事業助成

<すずかけ作業所>

一般財団法人高友福祉積善会様より福祉事業助成金を頂きテレビ・ソファー5脚・ハンドドライヤー2台・炊飯器を購入させて頂きました。

今後も快適な空間作りに努めていきます。

<一羊園>

一般財団法人高友福祉積善会様より福祉事業助成金を頂きポッチャ用ランプス・八角的・ボールセツト、充電式コードレスクリーナー3台、一眼レフカメラを購入させて頂きました。

利用者に毎日を楽しく、元気に過ごして頂けるよう、日々の生活支援、余暇支援、健康維持に努めます。



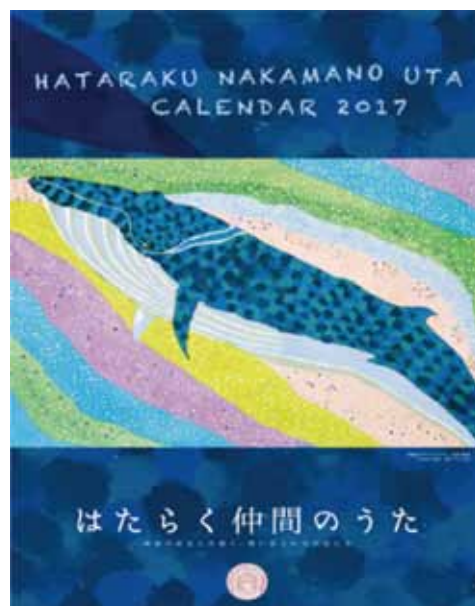
一羊会後援会事業

今年も一羊会後援会の販売事業として、「にしのみや市民祭り」や「輪伊和イひろば」でいか焼きなどを販売しました。

また、長年続けている、きょうされんの「はたらく仲間のうた」カレンダーの販売もしています。

そして、来年も1月9日～11日の三日間、十日戎での募金活動を赤門前と阪神西宮駅周辺で実施しますので、よろしくお願いいたします。

このように、今後も地域の皆さんに法人や後援会の取り組みを知っていただく機会を作りたいと思っています。



● 会費入金・ご寄付のお願い

いつも一羊会事業、後援会に対してご支援いただきありがとうございます。
年に3回程、この一羊会だよりを通じて皆様に法人、それぞれの事業所の様子などをお知らせしています。
皆様の会費・ご寄付は法人の施設整備費等に充てさせていただきます。
会計は4月1日～翌年3月31日までを1年としています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

会 費 個人会費 1口 2,000円 法人会費 1口 10,000円

送り先 一羊会後援会

(A)三井住友銀行西宮支店 普通 3007061 (B)郵便振替口座 01190-8-66322

●既に会費をお納めいただいた方には、失礼をお許し下さい。

法人・事業所御寄付の報告 (敬称略・順不同)

2016年7月1日～2016年10月31日

*法人指定寄付 中野美恵子、小阪俊雄、
毎日新聞鳴尾販売所 3件

*一羊園指定寄付 瀧山龍奨・仁子、一羊園家族会、
社会福祉協議会山口分区 3件

*すずかけ作業所指定寄付
すずかけ作業所保護者会 1件

*すずかけ第2作業所指定寄付
用海公民館茶の湯の会 1件

*武庫川すずかけ作業所
村崎 勝本直美 匿名 大野 平 4件

*ジョイント指定寄付
勝本直美 小阪俊雄 2件

今年度(2016年度)会費・寄付を頂いた皆様です。いつもありがとうございます。

一羊会後援会会費 (敬称略・順不同)

2016年4月1日～2016年10月31日

*法人団体の部

海清寺 高友福祉積善会 甲南防災設備 前中地所 ヤマムラ 新井組 平田建築設計 溝口社会保険労務士事務所
岡崎石材店 神呪寺 松尾装飾 西宮市民踊協会 越木岩神社 メックテクニカ 近畿鋼材 西宮市歯科医師会
すずかけ第2作業所保護者会 芦屋山手教会ナルド会 牧原クリニック 税理士法人丸岡&パートナーズ
すずかけ労働センター保護者会 廣田神社 圓満寺 巨勢工務店 上甲子園すずかけ作業所保護者会 西宮市薬剤師会
すずかけ作業所保護者会 大関エステート 大関 日新薬局 阪神園芸 武庫川すずかけ作業所保護者会
西宮中央地区民生委員児童委員協議会 金森商店 夙川地区民生委員児童委員協議会 35件

*個人の部

武内浩子 今西永兒 高谷知子 小田原和子 松村直衛 松村桂子 奥田幸子 善塔勝一郎 松本憲和 近藤慶子
北川泰寿 森田 順 大前はるよ 作田敏文 大前繁雄 秦野多紀子 松田 達 中川一夫 土井克己 浜田良子
高畠一徳 山本圭吾 小椋朝夫 緒方満智 長部文治郎 片山寛子 小林義典 山岡敬子 斉藤正市 安野照子
小川加代子 吉田幾久世 井上尚子 北川泰寿 大西勝代 谷矢吉夫 山本富子 久保田晴子 中谷美津子 本田洋子
南野道明 渡辺洋子 四井俊良 梅本隆司・富実子 鈴木 侑 田中京子 中西洋子 八木皓次 光武眞里 早川典江
水田義一 山本加津美 唐沢文子 吉野千栄子 馬場光子 薮田君子 岩井久美子 河合万貴子 瀧川秀樹 大村貞明
八木米太郎・名見子 伊藤節子 前川拓郎 橋本真理 高林恵子 千翔有峰 中村絢子 松枝千尋 堀江史子
宮川 達 佐竹基宏 谷田松子 四方 勝 深見秀敏 吉田 高 清水彩里 平山圭恵子 中川雅之 栗原裕実
鳥田 卓 宮川 守 上谷幸代 瀬川千津子 大目修平 八木春作 倉石哲也 86件

一羊会後援会寄付 (敬称略・順不同)

2016年4月1日～2016年10月31日

*法人団体の部

溝口社会保険労務士事務所 近畿鋼材 サンコウ消毒 上野神社 ヤマムラ 西宮浜産業団地協議会
スタジオ凛建築空間設計 大関 小山 法心寺 聖和短期大学 海清寺 トータルマナー 13件

*個人の部

高谷知子 小田原和子 松村直衛 松村桂子 善塔勝一郎 山本圭吾 小椋朝夫 片山寛子 行天比佐子 小林義典
山岡敬子 寺尾郁子 中島一敏 小川加代子 吉田幾久世 岩本正博 藤本久夫 谷矢吉夫 重久 隆 久保田晴子
西田智子 三上秀子 中谷美津子 近藤眞由美 中村栄子 長田悦子 岸 栄里子 田中ふみゑ 宮脇葉子 本田洋子
上林達児 唐沢文子 高木種子 馬場光子 薮田君子 岩井久美子 下浦洋子 是常孝男 大村貞明 大西勝代
井上尚子 前川拓郎 大目修平 山口静代 梅本隆司・富実子 小久保京子 上林正芳 森岡宏夫 藤原寛子
大目修平 斉藤正市 渡辺洋子 万竝建二 倉石哲也 橋口徳四郎 田村明範 千翔有峰 57件

● 編 集 後 記 ●

大きな地震が各地で起こっています。また、昨日のニュースでは東京都心で観測史上初めての積雪になったと報じていました。自然災害への警戒の必要性を感じます。

いざという時の備えと迅速な対応を心に留めておくことが大事ですね。

(い)